

高浜町の各学校では、授業改善のために、県教育委員会や町教育委員会とともに、言語活動を多く取り入れるような授業への改善を図っています。学校全体の学力傾向や課題を教師間で共有したり、授業研究を伴う校内研修を行うなどの取組により改善に向かっている項目もあります。しかし、全国や福井県と比べて、大きく差がみられる項目も依然解消改善されていないため、さらに取組を進める必要があります。

また、高浜町の子どもたちは、1日1時間以上テレビやビデオ・DVDを観たり、聞いたり、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしている割合が高いのに対して、家や図書館での学習時間や読書時間が短いという特徴がみられます。このようなことから、子どもたちが主体的に学ぶ態度の育成に取り組む必要があります。

高浜町では、児童生徒一人ひとりに**まず基礎的、基本的な知識及び技能を確実に身につけさせ、次にそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育む**とともに、**自ら積極的に学習に取り組む意欲や態度を養う**ように取り組めます。

## ◎児童生徒をより伸ばすための取組（今後の改善ポイント）

### 子どもが意見や考えを交流すること

- ★各教科等の学習のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける。
- ★授業の終わりに学習の振り返りを書かせる時間を設定する。
- ★さまざまな考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を工夫する。
- ★学級やグループで目的を設定した話し合う活動を授業に取り入れる。
- ★資料を使って発表ができるように指導を行う。

### 学びの姿勢や態度につながること

- ☆私語をしないことや、話をしている人の方を向いて聞くなどの学習規律を維持徹底する。
- ☆ノートに自分の考えだけでなく、他の人の考えを踏まえて、なぜそう考えたか、理由を書く習慣付けに取り組む。
- ☆テストやプリントで間違えたところを振り返ることで、どこでつまづいているかを確認する。
- ☆学級やグループで取り組んだり、挑戦したりする課題やテーマを与える。

### 1人1人に応じたきめ細かな指導

- ★放課後等を利用した補充学習等を行う。

### 主体的な学びとなる家庭学習を促すこと

- ☆調べたり文書を書いたりする宿題を与え、子ども自ら家庭で学習する習慣をつける。

### 教師間で課題を共有すること

- ★校内外の研修や研究会に参加し、その成果を積極的に校内で広げ、実践する。
- ★自校採点やその分析をすることで、子どもの課題を明確にし、すぐに手立てを打つ。

### 児童生徒の学習・生活習慣の状況

- ☆携帯電話やスマートフォン、テレビやゲームの時間を減らし、読書や家族との会話の時間を増やす。